

—新春座談会—

令和5年 東北支部管内での新たな展開と全国大会に向けた展望

東北支部総務企画委員会

1. はじめに

3年ぶりに行動制限のない年末年始を終えて、令和5年が始まった。東北支部では臨時で新春座談会を開催し、令和5年の支部管内の展望を語り合った。

2. 東北支部管内での都市計画関連の新たな展開

令和5年の支部内7県での新しい動きを紹介したい。

【青森】 昨年の大雨で運休中のJR津軽線の一部区間は存廃を含む協議が続き、地域公共交通確保に向け重大な局面を迎える。青森や八戸では中心市街地に複合商業施設が建設・計画され、弘前では煉瓦倉庫美術館周辺の回遊性向上の取組が活発化している。点から面への展開のため知恵と力を集めた新たな動きの創出が期待される一年となる。

【岩手】 盛岡では、昭和35年に開業し、高度成長期の街の賑わいのシンボルとなった盛岡バスセンターが令和4年10月5日に再建され、再スタートが図られた。再建に当たっては、「ローカルハブ」とのデザイン・コンセプトが描かれた。藩政以来の街の中心部に位置し、バス乗降施設であるとともに、中心市街地の再生、賑わい創出の拠点となることが期待されている。また、内丸地区に建つ県庁、市役所、裁判所や法務局などの建築物は、50～60年を超え老朽化が進んでいる。現在、市役所の建て替えについて市民会議の開催を踏まえ、有識者による検討が始められているほか、内丸地区の再生に向けた内丸プランの作成が進められている。コロナ禍にありながら、盛岡城築城以来400余年の歴史をもつ盛岡は、次の時代に向けた準備を進めている。

【秋田】 秋田市では県と市による複合文化施設が完成し、旧県立美術館のコンバージョンによるアート中心の文化創造館や駅前芝生広場化等で中心市街地に活気が戻りつつある。横手市の駅前再開発事業、湯沢市駅前のPFIによる複合施設整備事業等も進行中であり、秋田県は人口減少の重い課題を抱えているものの、都市再構築の動きは期待できる。一方で、秋田市市街化調整区域内の大型開発構想が動き出しており、将来に禍根を残すことがないような対応が課題となっている。

【宮城】 仙台市では、「全国都市緑化フェア」にあわせて青葉山公園内に「仙臺緑彩館」が4月に開館する。青葉山地区には東北大学川内萩ホール、仙台市博物館、仙台国際センターなどの公共施設が立地しており、また音楽ホール・震災メモリアル拠点複合施設整備も計画されており、さらなる地区の魅力向上、中心部と連携した街の発展が期待される。

【山形】 山形県は村山（山形市など）、庄内（酒田市、鶴岡

市など）、置賜（米沢市など）、最上（新庄市など）の4地方によって構成される。令和4年度によろしく、4地方すべてが高速道路によってつながった。県全体のグランドデザインが進むことが期待される。ただ、都市の視点では店舗撤退など中心市街地の課題が多い。しかし、山形市に注目すると、百貨店跡地の再開発、御殿塚遊歩道の延伸の竣工（令和5年度予定）など、新陳代謝の進展が見えつつあるように思われる。

【福島】 福島原発事故が発生してから間もなく12年が経過する。原発避難12市町村では居住者が原発事故前の2割程度にとどまっているなど、課題が山積している状況にあるが、令和5年には帰還困難区域に指定されているすべての特定復興再生拠点区域において避難指示が解除される予定である。また、福島イノベーション・コースト構想の一環として福島国際研究教育機構が4月に設立される予定であり、国内外の英知の結集による浜通り地域の復興に向けた新たな展開が期待されている。

【新潟】 県都新潟市では、新潟駅付近連続立体交差事業により昨年全線高架化が完成し、今年令和5年3月末には駅直下バスターミナルの歩道が先行して供用開始される。この歩道によって、従来のように2階にのぼることなく、1階レベルで万代広場と南口広場を行き来できるようになる。J1に再昇格したアルビレックス新潟の熱心サポーターもビッグスワンと街の行き来が容易になる。長岡市では大規模再開発「米百俵プレイス・ミライ工場」が完成し、新たな人づくり・産業振興・にぎわい拠点が誕生する。

3. 全国大会（盛岡大会）に向けた展望

【南支部長】 2023年の全国大会は岩手大学を会場に、11月10日（金）・11日（土）・12日（日）に開催を予定している。例年通り、初日にエクスカーションとシンポジウム、中日に研究発表会と懇親会、最終日に研究発表会、その他随時講演会等が開催される予定である。2023年の年初め、NewYorkTimes紙が、「2023年に行くべき52箇所」を掲載し、盛岡市は、ロンドンに次いでリストの2番目に挙げられた。自然と人の静かな営みが織りなす盛岡の魅力に気づいた米有力紙からのお年玉は、コロナ禍に沈む市民をどれほど勇気づけたかわからない。その魅力を探し体感すべく、岩手・盛岡へお越しをお待ちしている。



写真 新春座談会の一場面